

科目名称:保育内容(造形表現)指導法Ⅱ					
担当者名:永坂晃子					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	2年後期	演習	必修	1	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り		ナンバリング		24106262
授業概要:生活における子どもの「表現」の姿を理解し、どのように支えるかを考える保育者としての資質を養っていく。また、子どもの造形表現・あそびを教育的要素や文化的背景に照らして総合的に理解し、活動の対象となる子どもの年齢や実態に即した具体的な活動を実践し、現場に対応できる力を身につけていく。					
到達目標:各演習課題の意図と内容理解から、五領域の一つである「表現」についての理解を深める。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 感じたこと、考えたことを自由にかいたり、つくったりして表現する			「幼児と造形表現」「保育内容(造形表現)指導法Ⅰ」の復習(60)		
第2回 いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ(1)廃材を活かしてつくる			グループ討議、授業に必要な物品の準備(60) グループごとの自主製作(60)		
第3回 いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ(2)子どもが遊ぶ大型おもちゃをつくる			グループごとの自主製作(60) 課題レポート(120)		
第4回 いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ(3)子どもの紙工作(しかけを使った工作)			課題製作物のリサーチ、計画、材料・用具の準備(120)		
第5回 つくる活動の指導計画(1)ねらい			教科書 p.83~87 の予習(30) 授業課題(50)		
第6回 つくる活動の指導計画(2)直接的援助と間接的援助			教科書 p.88~100 の予習(30) 授業課題(50)		
第7回 つくる活動の環境構成(3)間接的援助			授業課題(50)		
第8回 おりがみ演習			課題製作物のリサーチ、検討(90) 課題レポート(30)		
第9回 あやとり演習			課題レポート(30)		
第10回 伝承遊びについて考える			第8回、第9回のレポートの振り返り、課題レポート(120)		
第11回 生活の中での様々な色、形、手触りを楽しむ(1)あそびの中から生まれる表現とその援助			「幼児と造形表現」「保育内容(造形表現)Ⅰ」、保育指針の理解(90)		
第12回 乳児の表現の発達			事前配布資料の予習、乳児の発達理解(90)		
第13回 表現の発達			事前配布資料の予習(60)		
第14回 生活の中での様々な色、形、手触りを楽しむ(2)子どもの心を支える表現と保育者の役割			事前配布資料の予習(60) 授業課題(60)		
第15回 まとめ			課題レポート(90)		
履修に必要な予備知識や技能:子どもの発達段階の理解、他領域の理解、「幼児と造形表現」、「保育内容(造形表現)指導法Ⅰ」の理解					
課題に対してのフィードバック:課題レポートは添削の上、課題内容に応じて10段階、5段階などの評価を付し、返却する。各提出物へのコメント。					
評価方法・基準:課題レポートおよび他提出物80%、受講態度20%					
教科書:教科書:「保育をひらく造形表現」槇英子(萌文書林)					
参考書:「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型こども園 教育・保育要領解説」「保育所保育指針解説書」					
備考:保育は、他の分野とも連動して学ぶことが理想です。本科目は大学・学科行事や他の関連科目の進行等を考慮してフレキシブルに展開します。					
実務経験の内容・期間:特別支援学校教諭(2年)、保育士(2年)、中学校教諭(1年)、美術造形活動講師(12年)					